

2022年9月20日

各位

株式会社 オウケイウェイヴ
代表取締役 杉浦元
(コード番号: 3808 名証ネクスト)
問い合わせ先 経営管理部
電話番号 03-6823-4306

第三者委員会による追加調査報告書の受領に関するお知らせ

当社は、2022年5月6日付「調査委員会の設置及び2022年6月期第3四半期決算発表の延期に関するお知らせ」に記載のとおり、社外の専門家で構成される調査委員会を設置し、同年4月19日付「債権の取立不能または取立遅延のおそれに関するお知らせ」及び同年5月6日付「(開示事項の経過)債権の取立不能または取立遅延のおそれのある取引先への対応に関するお知らせ」に記載したRaging Bull合同会社(所在地:東京都渋谷区、代表者:スニール・ジー・サドワニ、以下「RB社」といいます。)との取引(以下「本件取引」といいます。)に係る調査をいたしました。その結果、同年6月10日付「調査委員会による調査報告書の受領に関するお知らせ」のとおり、当該調査委員会から調査報告書(以下「前回調査報告書」といいます。)を受領し、過年度等の決算を訂正するとともに明らかになった事実関係に基づき本件取引に係る開示資料の訂正を行いました。しかしながら、前回調査報告書においては、同年6月15日付「2022年6月期第3四半期報告書の提出遅延及び当社株式の監理銘柄(確認中)指定の見込みに関するお知らせ」のとおり、本件取引に関連した一連の開示資料の適切性を含む一部の事項が明らかになっておらず、同年7月22日付「追加調査を実施する第三者委員会の設置に関するお知らせ」に記載のとおり、本件取引に係る追加調査を実施する第三者委員会を設置いたしました。

本日、当該調査委員会より調査報告書(以下「追加調査報告書」といいます。)を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 調査結果について

第三者委員会の調査結果につきましては、添付の「調査報告書」をご覧ください。なお、プライバシー及び機密情報保護等の観点から、個人名及び会社名等につきましては、第三者委員会により部分的非開示処置がされております。

2. 今後の対応について

(1) 会計処理等について

当社は、前回調査報告書を受け、2022年6月27日付「2022年6月期第3四半期報告書及び過年度の有価証券報告書等に係る訂正報告書の提出(過年度決算の訂正)に関するお知らせ」のとおり、本件取引がRB社側で適切に運用されていたと言えないことに鑑みて、当社の2021年6月期並びに2022年6月期第1四半期及び第2四半期に、投資有価証券売却益に計上していた投資運用益として受け取った金額を仮受金とする等の過年度決算等の修正を行いました。

追加調査報告書では、本件取引の全てが架空であったと認定され、第1回取引から第3回取引の利益相当額を仮受金に振り替えることで投資有価証券売却益を消去し、第4回取引の利益相当額については貸倒引当金繰入額と相殺消去することで、投資有価証券売却益の計上を認めないとする現状の会計処理は一貫しており、一定の合理性が認められるとされていることから、過年度決算等の修正はございません。

(2) 再発防止策等について

当社では、2022年8月25日開催の臨時株主総会にて経営陣を刷新し、再建に向けた途上にあります。

追加調査報告書では、前経営体制のもとで、本件取引に係る一部の役員の架空の認識可能性や取締役会をはじめとする内部管理体制全般の不備、本件取引に係る適時開示の不適切な対応があったこと等が報告されております。当社は、追加調査報告書の内容を真摯に受け止め、改めて深くお詫びを申し上げますとともに、追加調査報告書に記載の調査結果及び提言について十分に分析・検討の上、その内容を経営に反映する他、特に内部統制における統制環境の整備を主軸とし、再発防止のための会社全体の雰囲気や社風づくりを行ってまいります。また、当社は本日公表したRB社との本件取引についての追加の調査とは別に、2022年9月10日及び13日に開示しましたとおり、当社子会社の自己株式の取得等の事実関係を調査するため、社内調査委員会を設置しております。今回の再発防止の取り組みの中で当該自己株式の取得等の事実関係も明らかにし、再発防止策の策定に取り組んでまいります。社内調査委員会の調査結果や再発防止の取り組みについて公表すべき事項がある場合には、適時適切に開示いたします。

以上